



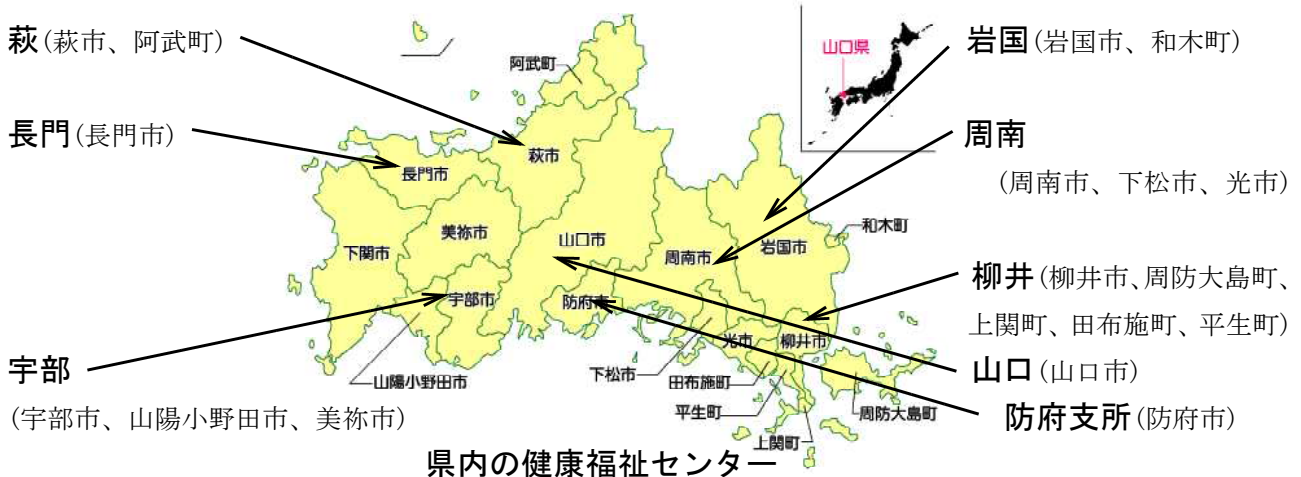
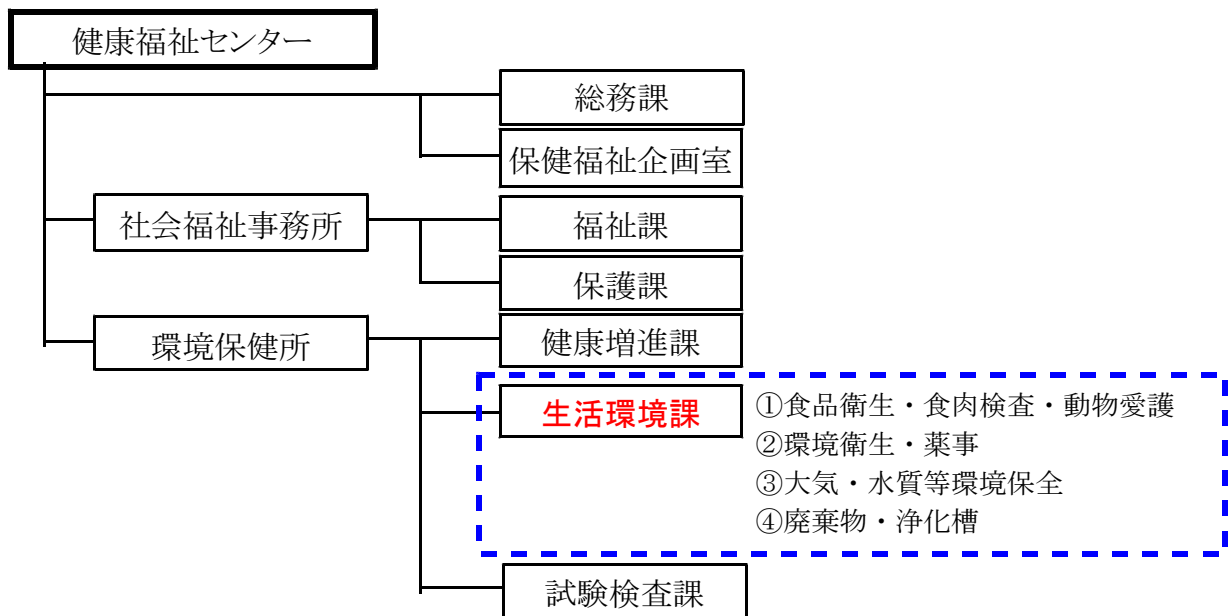
心のかよう健康福祉社会をめざして 健康福祉センター

1 健康福祉センター

健康福祉センターは社会福祉事務所と保健所を構成機関とする、保健・医療・福祉及び環境のサービスを一体的に提供するための県の機関です。

県民の皆様のご日常生活にかかわりの深い業務を県内市町とともに総合的な行政サービスとして提供しており、岩国、柳井、周南、山口、宇部、長門、萩の県内7か所に設置されています。

2 健康福祉センターの組織 ～ 獣医師は主に生活環境課に勤務しています。～



◎ 生活環境課の主な業務

〈食品衛生・食肉検査・動物愛護〉



食品加工施設の監視

飲食店、弁当調製施設、スーパーマーケットなどの食品取扱施設に対する監視や指導を行い、食中毒発生の未然防止を図る業務を行っています。



食品販売施設の監視



BSE検査



と畜検査



食鳥検査

と畜検査や食鳥検査は、家畜の生産部局と疾病に関する情報交換を密にしながら、的確な疾病排除に努め、食肉の衛生確保を図るとともに、処理施設の衛生管理指導を行っています。



ペットショップ、ブリーダー、ペットホテル等、動物を取扱う施設に対する監視や指導を行い、動物の飼養管理の適正化を図る業務を行っています。



山口県動物愛護センターでは、県の動物愛護管理の中核として、健康福祉センター、市町、関係団体と連携して県民の動物を愛護する意識を高めるとともに、動物の適正な飼養について理解を深める取組を行っています。

〈環境衛生〉

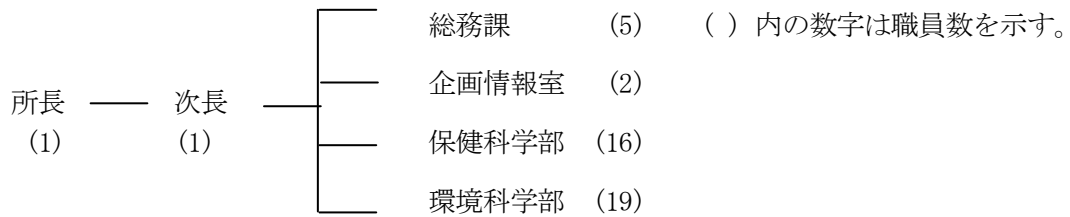
- 生活衛生営業六法(興業場法、旅館業法、公衆浴場法、理容師法、美容師法、クリーニング業法) 各種届出の受理、営業許可関係、関係施設の調査、衛生指導等の業務
- 建築物における衛生的環境の確保に関する法律
- 墓地、埋葬等に関する法律* (町の墓地経営認可事務等)

※平成24年4月1日から、県の権限の一部が市に委譲されました。

山口県環境保健センター

職員総数：44人（葵庁舎 22人、大歳庁舎 22人）

組織図



センターの概要

1) 施設 葵庁舎（保健部門：総務課、企画情報室、保健科学部）

鉄筋コンクリート造 地上4階 昭和44年2月開設

総務課、企画情報室、保健科学部各実験室、分析機器室、会議室、動物舎

大歳庁舎（環境部門：総務課、企画情報室、環境科学部）

鉄筋コンクリート造 地上3階 昭和49年1月開設

総務課、企画情報室、環境科学部各実験室、大気汚染常時監視テレメータ室、会議室、高度安全分析棟

2) 業務 県民の健康と快適な生活環境を守るため、本県における保健・環境分野での科学的・技術的中核機関として調査研究、試験検査、研修指導、情報提供等の業務を行っています。

- ・ 調査研究：感染症・食中毒に関する調査研究、指定薬物検査法に関する調査研究、有害大気汚染物質の環境調査及びシミュレーション分析、水質・廃棄物・有害化学物質に関する調査研究、干潟の生態系機能に関する調査研究

・ 試験検査：

一般依頼検査：食品細菌検査、寄生虫卵検査、食品添加物規格検査、医薬品規格検査
温泉分析、一般廃棄物最終処分場の放流水等検査

行政依頼検査：食中毒及び感染症病原体等検査、動物由来感染症調査、麻痺性貝毒検査、食品中の残留農薬・抗菌剤検査、食品中のアレルギー物質検査、遺伝子組換え食品検査、医薬品・家庭用品規格検査、大気中の有害化学物質調査、大気中の微小粒子状物質（PM_{2.5}）の成分分析、航空機関係等騒音振動調査、ダイオキシン類環境濃度等調査、工場排水・地下水中の有害物質検査、環境ホルモンのモニタリング調査、産業廃棄物最終処分場に係る検査、廃棄物・土壌の有害物質検査、突発公害に係る環境分析、UPZ内の放射線測定

・ 研修指導：保健・環境関係技術者の受託研修、海外技術研修員の受け入れ

・ 環境学習支援：親と子の水辺の教室指導者研修、体験学習等の訪問受け入れ、各種イベントへの出展

・ 山口県感染症情報センターの管理・運営：現在流行している感染症等の発生動向調査及び結果公表

・ 情報提供：ホームページを活用した感染症情報や大気汚染状況常時監視情報等の提供

・ 国からの委託調査、共同研究

厚生労働省：感染症流行予測調査、食品の食中毒菌汚染実態調査

環境省：化学物質環境実態調査（大気、水質、底質、生物）
水源の森保全酸性雨影響調査

国立環境研究所：海域・陸域の浅水域における生物多様性と生態系機能に関する研究

住民参加による干潟環境改善手法の検討

PM_{2.5}と光化学オキシダントの実態解明と発生源寄与評価に関する研究

原子力規制庁：環境放射能水準調査（空間放射線量率の測定、核種分析）

・ 日韓海峡沿岸県市道環境技術交流事業：微小粒子状物質（PM_{2.5}）に関する広域分布特性調査

* 日本側4県（山口県、福岡県、佐賀県、長崎県）、韓国側1市3道（慶尚南道、釜山広域市、全羅南道、済州特別自治道）

・ 山口大学工学部との連携：水環境フォーラム山口の開催（年2回）

（平成26年4月1日現在）

葵庁舎



敷地面積：3,126m²
建物延べ床面積：2,622m²

大歳庁舎



敷地面積：6,549m²
建物延べ床面積：3,669m²



保健科学部：電子顕微鏡によるウイルス検査



環境科学部：有害大気汚染物質分析



保健科学部：食中毒菌の培養検査



環境科学部：ダイオキシン分析装置



保健科学部：食品中の残留農薬調査



環境科学部：放射能調査